

## 有機農業の取組事例（常陸大宮市：古東氏 ～コトコトファーム～）

### 都会でのサラリーマン生活から、中山間地域での有機農業の取組へ

自然の四季の流れの中で、農薬を使わず、有機肥料で、少量多品目の旬の野菜づくりを展開しています。

#### ◆ 経緯等

- ・徳島県出身、大学でベトナム語専攻、ベトナム留学
- ・2002年 ベトナム人材関係のコンサルタント会社に就職
- ・2010年 会社を退職、農業研修1年間（「食」と「自然」が好き）
- ・2011年 常陸大宮市で就農（妻の実家が茨城県内）



- ◆ 栽培面積：約2ha（野菜：約40品目）  
→全面積：農薬や化学肥料は不使用



#### □ 有機栽培のきっかけ、最近の展開等 ～古東氏からのコメント～

- ・だんだん「都会でのサラリーマン生活」にギャップを感じ始め、農業に興味を持ち始めた。と同時に、やるならば、(サラリーマン的な)画一的な(工場生産のような)ものではなくて、自分の思うようなものを進めたいと考えて、「付加価値を付けた農産物(の生産)」を志した。
- ・有機農業に取り組むにあたり、インターネットで調べるなかで、千葉県有機農家へ研修に入ることに決めた。(技術は研修で覚えた)
- ・個人への宅配が中心で、市場流通型の販路ではないため、あまり、有機JAS認証は考えていない。(そこに経費と労力をかけたくない)
- ・年とともに、体がきつく感じることもあるが、当面は、今のスタイルで進めていきたい。(規模は大きくはないが、自分にあっている)

#### □ 古東氏の常陸大宮市への参入に対する地元からの支援等

- ・「グリーンふるさと振興機構」(現在は解散)に相談  
→常陸大宮市内の専業農家を紹介してくれた  
\*その後、その農家の方から何度も電話をもらった
- ・連絡を受け、足を運ぶうちに、地域の人との交流も増  
→地域の農業委員の方も、住宅や農地の話もしてくれた  
\*最終的に、住宅及び周囲の畑を借りることが出来た

#### ◆ 販路関係：旬の「野菜セット」を宅配

→個人への直接販売での「喜び」がある  
(美味しい野菜、喜んでもらえる野菜づくり)

\* ネットでの情報発信等により、販路拡大へ

\* レストランへの販売、道の駅での販売も実施